

# 地域福祉推進委員会 第10号 2023.3 発行

## ほっとネットしょうぶ通信

発行：ほっとネットしょうぶ 問合せ：多摩市社会福祉協議会まちづくり推進担当

関戸 4-72 ヴィータコミュニティー 7階 ☎042-373-5616 FAX042-373-6629

ほっとネットしょうぶでは、**唐木田、中沢、山王下、鶴牧1・2・6丁目、落合1丁目**地域の皆さんと地域で活動する団体や関係機関などが集まり、地域の課題について検討しています。令和4年10月～令和5年2月に、災害や地域での支え合いについて学びました。

### 災害のこと・その1 大妻女子大学連携 ～防災について～

#### 在宅避難という新しい考え！！

（大妻女子大学 人間関係学部准教授 堀 洋元先生）

●在宅避難の備えは、「備える・食べる・買い足す・常備する」といった、日常備蓄（ローリングストック）が有効。

参加者の声：いざという時に賞味期限が切れている心配がないので実践しようと思う！！

#### 魔法の携帯トイレの紹介（多摩市赤十字奉仕団）

●女子高校生が避難所でトイレの悩みを抱えがちな女性の目線で、災害用携帯トイレ「魔法の携帯トイレ」を開発した。

参加者の声：魔法の携帯トイレを参考にホームセンターで代用品を購入し、各家庭にあったものを備えておくことが大事！！

#### 災害時に使える紙食器の組み立て体験

（奥村印刷株式会社）

●A4 サイズの厚紙シートでできた食器で、スープカップ・丼・皿の3種類があります。折り畳むだけで作ることができ、組み立てる前はA4サイズのシートなので、保存場所も少なくてすみます。

参加者の声：高齢者や子供が折ることで、避難所で役割を持つことができ、避難所生活に変化ができて良い！！

### 災害のこと・その2

#### ～落合給水所給水体験～

#### こんなことを学びました

- 多摩市には給水所が5つあります。誰が何処の給水所を利用しなければならないという制限はない。
- 給水所の開設準備は水道局の職員が行い、運営は住民が行う。
- 災害が起こってから2週間程度で復旧できるように水道管の耐震化を進めている。
- 給水体験ができることを知った。



## 災害のこと・その3 河北医療財団 ～地域防災～

多摩市中沢にある河北医療財団、天本病院は、地域で災害が起こった時「災害支援病院」に指定されていて、「慢性疾患への対応や区市町村地域防災計画に定める医療救護活動」を担います。

多摩市と同財団のあい介護老人保健施設（中沢）、あいクリニック（貝取）、あいグループホームどんぐり（聖ヶ丘）などは、高齢者や障がい者、その他特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための設備・器材・人材を備えた「福祉避難所」開設の協定を結んでいます。



## 地域の支え合いの仕組みづくり

6月25日（土）に開催した第2回ほっとネットしょうぶで、多摩センター地域包括支援センターに寄せられる相談には、「蛍光灯交換」や「ゴミ出しを手伝って欲しい」などのちょっとした困りごとが多く、近所で解決できるといいなどの声があげられました。そこで、12月17日（土）の第5回ほっとネットしょうぶでは、多摩市内で近隣住民の支え合いの活動を実際に行っている多摩市百草団地自治会の方にお話を聞きました。



### 百草団地の取り組みについての参加者の感想



- 百草団地の高齢化率が50%を超えていると知って驚いたが、他人事ではないと思った。
- 支え合いの活動の必要性を共有できる住民がいることがうらやましい。
- とても良い仕組みで、住んでいる地域にもあるといいと思った。

## からきだ菖蒲館 ふくしなんでも相談のお知らせ

開催日時 4/18 5/16 6/20 7/18 9/19 10/17 11/21 1/16 2/20 3/19

全て火曜日 14時00分～15時30分

※介護保険のこと、高齢の両親のこと、日常のお困りのことなど社会福祉協議会職員や包括支援センター職員が相談にのります。※予約不要、直接会場へお越しください。